

CAMPUS TOPICS

第8回 環謝祭

10月1日(土)・2日(日)の両日、第8回鳥取環境大学「環謝祭」が開催されました。実行委員が企画したイベントや、課外活動の成果発表、模擬店などを実施し、無事に終了することができました。本年度は昨年度までと趣向を変え、音楽をイベントに多く取り入れました。1日に「超飛行少年」、2日に「UBT」をゲストに、音楽ライブを行い多くのお客さんと賑わいました。また、卒業生が主催した「エコラツタエル展」や高月紘氏(石川県立大学教授)をお迎えし、特別講演会「地球環境問題と私たちの暮らし」を行い、多くの方々に改めて環境問題に関心を持ってもらえたのではないかと思います。

実行委員だけでなく、イベントや模擬店等に学生が中心となって環謝祭を盛り上げ、地域の方も多く参加していただき、テーマの「一祭入魂」のとおり、年に1回の環謝祭にとても力が入っていて祭魂を感じられるものになったと思います。実行委員だけでは



足りない所を学友会執行部員の方々や当日スタッフの皆さんに、お手伝して頂きました。理事長、学長をはじめ、教職員の皆様、先輩には多くのご協力をいただきありがとうございました。来年も皆様楽しんでもらえるような環謝祭にしていきたいと思ひます。来年も環謝祭をどうぞよろしくお願ひいたします。

環謝祭実行委員会 委員長
環境政策学科 2年 北村 友佳

第44回鳥取しゃんしゃん祭参加レポート

去る8月9日(土)、鳥取市の夏の風物詩「鳥取しゃんしゃん祭」に、本学学生86名と同窓生(鳥取環境大学同窓会 Re:TUES会員)23名が『鳥取環境大学連』として参加しました。祭の中核となる「傘踊り」は、江戸時代末期に発生した山陰大干ばつの折の雨乞い踊りに源を發し、それが明治時代に「因幡の傘踊り」に發展、更に昭和39年に民謡「きなんせ節」に振り付けされて、昭和40年に始まる「しゃんしゃん祭」に取り入れられたものです。

その「しゃんしゃん祭」に、本学学生は開学以来毎年「連」を組んで参加してきました。今年は昨年に比べ参加希望者が少なかったこともあり、運営する側として当初かなり不安を覚えたのですが、同窓生にも参加して頂き、結果は昨年とほぼ同数、参加団体の中でも最大規模の連として参加することが出来ました。

踊り子リーダーは、開学以来7年間に蓄積されたノウハウを十分に生かすべく、早々と練習内容や振り付け等について打ち合わせを行い、練習を開始、リーダー以外の参加者もその練習に自主参加して



くれました。今年は定期試験終了日から祭本番までの日数が少なかったため、参加者の練習開始日を例年よりも早め、試験期間終了直後から踊り子ほぼ全

員を集めて、猛暑にもめげず、集中して練習を行いました。初めは初心者と経験者として踊りの技術や質にかなり違いがあったのですが、祭前日には、その見分けがつかないほどに、全員が上達しました。

祭当日は天候にも恵まれ、出陣式に、西田就職担当参加に加え、今年は鳥取県関西本部の米田本部長もお見えになり、激励の言葉を頂戴しましたので、参加者も気合が入ったと思います。市内パレードでは、全員一丸となって威勢のよい掛け声と共に、若桜街道と智頭街道を踊りまわりました。残念ながら昨年に続いての賞を受賞することはできませんでしたが、踊っている時の参加者の顔は、どの顔も楽しそうでした。加えて、『鳥取環境大学連』名物「ごみ拾い隊」21名が我が連に同道、路上のゴミを回収分別して、本学学生らしく環境美化に努めました。

最後になりましたが、しゃんしゃん祭への参加を支援して頂いた、同窓会並びに大学の関係各位に心から感謝申し上げます。併せて、来年以降も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。今年の祭を、在学生だけでなく同窓生とも連携交流して盛り上がる、素晴らしい催しにすることができ、殊のほか嬉しく思いました。

TUESしゃんしゃん愛好会 委員長
環境政策学科 3年 八幡 鮮

Club & Circle ACTIVITIES

クラブ・サークル活動の紹介

運動や趣味を通じて新しい仲間や先生と楽しく交流しています

硬式テニス部



現在、硬式テニス部は10名の部員で活動しています。硬式テニスは個人競技のシングルス、ダブルスとチーム対抗の団体戦があります。大学からテニスを始めた初心者も多くいるため、休日にはOBの先輩方に指導をしてもらうなどしています。今春には、顧問の十倉教授(環境デザイン学科)をはじめとした先生方と部員達の手により、苦勞してコートに壁打ち用の板を完成させ、効率的にレベルアップを図っています。練習では、皆が声を出して元気の良い雰囲気になっているので、楽しみながら練習に打ち込むことができます。昨年は全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会に参加しました。残念ながら初戦敗退という結果になってしまいましたが、今年は、部員一丸となり初戦突破を目指し奮起しています。また、鳥取市で毎年行われる『聖神社大祭』の神輿巡幸に部をあげて参加しました。地域貢献活動にも積極的に参加し、テニスでは得られない面白さも味わうことができます。

中山間地域応援隊部(通称:MAB)



私達は、中山間地域の農業の活性化を目標に4つの班に分かれて活動しています。現在19名、毎週水曜日の定例会では全体の話し合いや各班の活動報告を行っています。「企画班」は、農業の体験等のイベントを企画・運営しています。街の人々や学生を参加者の対象とし、農作物を作ることの難しさや苦勞と同時に、農村の居心地の良さや農家さんの思いを伝えていきます。最近では、「竹の子ホリデー」という企画名で、竹の子掘りや梨の袋かけを体験するイベントを行いました。「流通班」は、毎月第二土曜日に、農作物を代理販売する産直市を開いています。これは、農家さんの収益の向上を目的としています。手数料は10%とし、残りの90%は農家さんにお渡ししています。場所は、市役所近くの高砂屋という交流館です。「人材班」は、農業バイトという形で、農家さんのお手伝いをしています。学生のバイトをしたいという気持ちと、農家さんの人手が欲しいという気持ちを結びつけています。「広報班」は、各班のイベント等の広報を行っています。新聞やテレビ等へのメディアへの広報のお願いや、ポスター・ビラ等の作成です。今後も、オレンジ・グレー・赤・青・緑のつなぎ姿で、中山間地域農業を元気に応援していきたいと思ひます!